

# TEAM

## ☆2学期のスタートです☆

我孫子市立湖北小学校  
第6学年・学年便り  
2020. 8月・9月号

今年度は例年よりも短い夏休みでしたが、いかがでしたか。制限の多い中で、各ご家庭で工夫して過ごしていたことと思います。まだまだ暑さの残る中での2学期のスタートですが、学校生活のリズムを取り戻せるよう、声をかけていきたいと思ひます。

さて、今学期より6時間日課に変更となります。例年通りの学習リズムに近い感覚で学習を進めることができると考えていますが、復習や補充がしっかりとできるよう日課を工夫し、基本的な学力の定着を図りたいと思ひます。

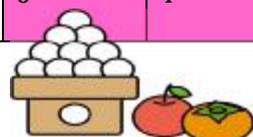
行事については例年通りとはいかなぬ部分が多いのですが、一人一人がよりよく成長できるよう、担任一同努力してまいりますので、ご協力をお願いします。

### 8月・9月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日
8/17	18	19	20	21 2学期始業式 11:30下校	22	23
24 給食開始	25 発育測定	26	27	28	29	30
31	9/1	2	3 5校時日課 14:30下校	4 避難訓練	5	6
7	8	9	10	11	12 市内科学作品展	13 市内科学作品展
14	15	16 集金日 尿検査(一次)	17 5校時日課 14:30下校	18 5校時日課 14:30下校	19	20
21 敬老の日	22 秋分の日	23 内科検診	24	25	26	27
28	29	30	10/1 全校朝会	2 通知表配布日	3	4

### 今月の集金

今月は、2,000円となっています。よろしくお願ひします。  
※裏面に詳細を記載しています。ご覧ください。



## 9月の生活目標



◎元気なあいさつをして、生活のリズムをつくろう。

○さしすせそじで2学期のスタートを気持ちよくしよう。

## 学習予定

国語	川とノリオ 物語を作ろう	
社会	貴族のくらし 武士の世の中へ 今に伝わる室町文化	
算数	比 拡大図と縮図 円の面積	
理科	生物どうしの関わり 月と太陽 水よう液の性質	
音楽	世界の国々の音楽 ラバーズコンチェルト	
図工	絵画	
家庭科	楽しくソーイング	
体育	体づくり運動 保健	
道徳	命の重さはみな同じ エンザロ村のかまど 修学旅行の夜	
外国語	How is your school life? Let's go to Italy.	

## お知らせとお願ひ

### ○持ち物について

2学期の授業が始まります。教科書やノート、筆記用具、絵の具など、必要な用具の確認と記名を宜しくお願ひします。

### ○家庭科作品の制作について

家庭科ではトートバッグを制作します。今回は、全員分を一括で注文し、教材費で集金させていただきます。指定の教材から、好きな柄や色を児童に選択させます。

9月下旬頃から制作を始める予定です。裁縫セットの中身の確認をお願いします。(刺繍糸が足りない場合は補充をしてください。トートバッグ作りで使います。)

### ○PC・タブレット、スマートフォンやゲームの利用について

今年のコロナウイルスによる休校等の影響により、ご家庭での情報端末やゲームの利用時間が増えているように思ひます。それに伴い、利用への依存やネットワークを介した友人とのトラブル(いじめ、仲間はずし)につながる恐れが十分に考えられます。家庭内での利用時間や保管場所等のルールをきちんと決め、お子さんがそのルールを守れるよう、ご協力をお願いいたします。

# 2学期の集金について

夏の学習帳	290円
ワークテスト（国語・算数・社会・理科）	350×4=1400円
英語テスト	290円
漢字ドリル	350円
漢字ドリルノート	180円
計算ぐんぐん	340円
書き初めの手本と用紙	250円
通知票ファイル	184円
日記帳	100円
合計	3,384円

2学期の集金 3,384円を 回に分けて、集金します。

9月 2,000円      10月 1,384円

9月の集金は2,000円となります。よろしくお願ひします。

10月の集金日は21日（水）を予定しています。11月の集金はありません。

## 卒業式の和装について

今年度の卒業式の和装について、我孫子市教育委員会より通知がありました。和装を禁止するものではありませんが、着用にあたっての注意点等が記載されておりましたので、お知らせします。主な内容としては以下の通りです。

### 和装による弊害

- 準備等に時間がかかるため、早朝から準備をし、式の途中で体調を崩す
- トイレ
- 帯で腹部が圧迫される。

また、当日は上履き着用をお願いします。

## 言葉は心の表れ

5、6年生でも平気で「ウザイ」「キモイ」「死ね」という言葉を使っている子がいます。子供達の心が不安定なんですね。とても可哀想です。大人が何とかしてあげなければいけません。言葉にはその人となりが見られるといわれています。

相手の手の気持ちを推し量る能力や美しいものとそうでないものを判断する目が育っていないのです。逆に美しい言葉は人を和ませます。児童文学の名作と言われている作品はそれはそれは美しい日本語に訳されています。読んでいるだけで普段の自分の言葉が恥かしくなるほどです。

5、6年生の柔らかい頭と心にたくさん美しいものを見せてあげましょう。5、6年生になると興味がはっきりと現れてくる頃です。ピアノが好きなら演奏会に、絵が好きなら美術館に、お笑いが好きなら演芸場に連れて行ってあげましょう。そして鍛錬を積んだ人の生き様をしっかりと見せてあげるのです。

魂がこもったものには人を惹きつける美しさがある、言葉もしっかりだと教えてあげてください。5、6年生ならばその意味を理解し「ウザイ」という言葉を聞いたとき(醜い)と気付くことでしょうか。一度気付くともうめったなことではその言葉を使いません。自分が醜くなると分かるから。

「そんな言葉使ったらダメ。」ということは簡単ですがそれでは子供の心に届きません。逆に本当に美しいものを教えてあげることが大切です。心の美しさが見られるような言葉、大人も意識してゆかねばなりませんね。

### 「怒る」と「叱る」の違い

■「怒る」の語源

「両手をしなやかに重ねひざまづく女性」の象形

「手」の象形

「心臓」の象形

⇒ 怒

■「感情に力を込める事」が原義

■基本的に「自分の感情」を表現した言葉

■「相手に、何を、どのように伝えるか」ということは、語義に入っていない!

■「叱る」の語源

■口+音符「七」の会意形声文字。「鋭い声を発すること」が原義。

叱

■基本的に「相手に何かを伝える様子」を表現した言葉

■現代では「目下の者の言動のよくない点などを指摘して、強くとがめる」等の意味合いで使用されている。

参考 <http://okjiten.jp>